

高校生等医療費助成事業

Q どのような理由により、高校生等の医療費が増加しているのか。

A 令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症が保険適用となったことが、要因の一つと考えられる。

妊活サポート事業

Q 不妊治療を受けた方の、その後の実績はどのようになっているのか。

A 令和4年度の実績は、75名が治療を受け、妊娠に至った方が46名、出産に至った方が27名である。



風しん抗体検査及び予防接種助成事業

Q 風しん抗体検査、予防接種を受けた人の割合はどのくらいか。

A 令和4年度時点で、対象者のうち、風しん抗体検査を受けた方が36.5%、予防接種の接種率が12.6%である。抗体がある方は予防接種を受けないので、このような割合となっている。

小中一貫整備事業

Q 仮設校舎を取り壊した跡地の活用は、どのようになるのか。

A 令和10年3月まで仮設校舎を使用し、その後は新宮こども園を仮設校舎跡地に移転予定である。

学校施設修理事業

Q 小・中学校のトイレの洋式化の割合は、どこまで進んでいるのか。

A 今年度の洋式化工事が終われば、71%になる。県では、令和4年度末で71.7%となっており、ほぼ県に近い数字となっている。



鹿・猪等有害鳥獣対策事業

Q 鹿や猪の被害は大きく、議員や自治会への相談も多い。市としての対策はどのようになっているのか。

A 被害状況は、令和2年度は約800万円、令和3年度は約1千200万円と増えている。そのため、今年度は新規事業として、自治会単位で金網柵等の補修や、センサーカメラなどを設置するために、上限20万円の補助を行っている。今後も、農家や自治会などから、地域の実情を聞き、迅速に対応していきたい。



水産業総合緊急対策支援事業

Q 海の問題は、幅が広く専門的で難しいので、県等と連携し、対応していく必要があるが、どのようになっているのか。

A 県庁の水産漁港課や各関係課、漁港の所管である姫路農林水産振興事務所などを訪問し、指導をいただくとともに、担当課長等と情報交換に努めている。

住民参画型森林整備事業

Q どのような事業内容なのか。また、地域団体が森林整備のために申請を出せば、個人の山でも対象になるのか。

A 地域住民団体が自発的に実施する森林整備事業に対して、資材等の支援を行うもので、県の10分の10の補助事業である。また、個人の山でも同意書をいただければ対象になる。

道路新設改良事業

Q 地元から道路の改修や新設の要望があった場合、どのように対応しているのか。

A 要望があった場合は、現地を確認し、道路用地の協力が必要な場合においては、用地提供いただける箇所を優先的に実施している。また、代替道路がないところ、交差点の危険なところ等を優先的に実施している。

補正予算は、予算決算特別委員会の各分科会で審査しています。ここでは、

緑文字
総務生活分科会

橙文字
福祉文教分科会

青文字
経済建設分科会

での主な質疑を掲載しています。